

令和7年 労働災害発生状況（令和7年11月末現在）

(休業4日以上 の死傷者数)

水戸労働基準監督署

業種別		年		6年		同期比	
		死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業
製造業	食料品		38		32		6
	木材・木製品		8		5		3
	化学工業		11		13		-2
	金属製品		15		7		8
	一般・電気・輸送用機械		22		15		7
	その他		29		33		-4
	小計		123		105		18
建設業	土木工事		25		16		9
	建築工事（木造除く）		22		26		-4
	木造建築工事		2		9		-7
	その他の工事	1	17		17	1	
	小計	1	66		68	1	-2
陸上貨物運送事業		1	67		71	1	-4
畜産業			15		9		6
小売業		2	97		94	2	3
社会福祉施設			54		57		-3
その他		1	225	3	230	-2	-5
計		5	647	3	634	2	13

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
7年		(1)			(2)			(1)	(1)					(5)
		63	59	58	60	57	71	80	61	50	56	32		647

冬期の転倒災害防止のポイント

積雪・凍結などの転倒災害のリスクが高くなる冬期間は、以下の対策が特に重要です。

◇天気予報に気を配る

寒波が予想される場合などには、労働者に周知し、早めの対策を実施しましょう。

◇駐車場の除雪・融雪は万全に。出入口などに注意する

駐車場内、駐車場から職場までの通路を確保するため、除雪や融雪剤の散布を行いましょう。また、出入口では転倒防止用マットを敷き、夜間は照明設備を設けて明るさ（照度）を確保しましょう。

◇時間に余裕をもって歩行、作業を行う

天候による交通機関の遅れが見込まれる場合は、時間に余裕をもって出勤するようにし、落ち着いて作業をするように心がけましょう。屋外では、小さな歩幅で靴の裏全体を付けて歩くようにしましょう。

◇職場の危険マップの作成、適切な履物、歩行方法などの教育を行う

職場内の労働者が転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、労働者への教育の機会に伝えるようにしましょう。また、作業に適した履物、雪道や凍った路面上での歩き方を教育しましょう。

転倒防止に役立つ靴と保護具を活用しましょう

雪道を安全に歩くには、靴選びが大事！

<靴選びの3つのポイント>

▶防滑性：靴底が滑りにくいこと

（やわらかいゴム底のものは、ゴムがすり減っていないかもしっかり確認しましょう）

▶撥水性・防水性：水分が靴の中に入り込まないこと

▶保温性：靴の中を温かく保てること

このほかにも、靴の重量やバランス・屈曲性・つま先の高さもポイントになります。

年齢別		件数	率（％）
～19歳		12	1.9%
20～29歳		(1) 82	12.7%
30～39歳		73	11.3%
40～49歳		109	16.8%
50～59歳		(2) 163	25.2%
60歳～		(2) 208	32.1%

規模別		事故の型別												合計	
		規模 9人	四 九〇 人	一 九〇 人	五 九〇 人	規 模 一〇〇 人	墜 落・ 転 落	転 倒	激 突 さ れ	巻 挟 込 ま れ	こ 切 す れ	交 通 事 故	動 作 の 反 動	そ の 他	
製造業	食料品	3	8	9	18		4	8	1	6	9		4	6	38
	木材・木製品		3	5			1	1		3	2			1	8
	化学工業		4	3	4		1	2		3	1		2	2	11
	金属製品	1	6	5	3		1	3		5			3	3	15
	一般・電気・輸送用機械	1	6	2	13		6	3	3	5			3	2	22
	その他	6	16	2	5		6	3	2	7	4	1	2	4	29
	小計	11	43	26	43		19	20	6	29	16	1	14	18	123
建設業	土木工事	8	17				7	6	4	3	1		2	2	25
	建築工事（木造除く）	12	10				9	5	1	1	1		2	3	22
	木造建築工事	2									2				2
	その他の工事	7	10				(1) 4	2		4	2		1	4	(1) 17
	小計	29	37				(1) 20	13	5	8	6		5	9	(1) 66
陸上貨物運送事業		8	40	16	3		28	13	7	5		(1) 4	4	6	(1) 67
畜産業		2	6	2	5		1	2	1	4	2		1	4	15
小売業		7	49	17	24		9	35	3	4	6	(1) 15	13	(1) 12	(2) 97
社会福祉施設		6	31	12	5		3	28	3				14	6	54
その他		35	98	30	62		28	75	9	(1) 13	12	26	22	40	(1) 225
計		98	304	103	142		(1) 108	186	34	(1) 63	42	(2) 46	73	(1) 95	(5) 647

※ 数値は、労働者死傷病報告より集計したものであり、（ ）内は死亡者で内数である。

※ 陸上貨物運送事業は「道路貨物運送業」、「陸上貨物取扱業」を合わせたものをいいます。

※ 新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く